資料３

小金井市交通ネットワーク再編計画

目　次

1 バス事業を取り巻く状況 1

1.1 深刻な運転士不足・運転士採用の苦戦 1

1.2 2024年問題（改善基準告示の変更） 1

2 ルート再編 2

2.1 現在の運行ルート 2

2.2 再編検討の経緯 3

2.3 検討の前提条件 4

2.4 再編路線の検討 6

2.5 再編後の運行ルート 22

3 運賃・割引制度 23

3.1 小金井市内を運行する路線バスの運賃の状況 23

3.2 運賃・割引制度の改定に対する意見 25

3.3 今後の運賃・割引制度 26

1 バス事業を取り巻く状況

1.1 深刻な運転士不足・運転士採用の苦戦

運転士の不足は全国的に年々深刻化していますが、小金井市に関連する事業者でも同様の状況です。

年齢構成も 50 代が最も多く約 45%を占めており、また 40 歳未満は約 10%と少なく、今後更に高齢化が進むことが予想されます。

転職市場が活性化する中で異業種へ人材が流出し、採用人数が退職者数に追いつかず、全国的にみても現状(2024 年時点)で約 15%不足、さらに令和 12(2030)年には約 30%、人数で見ると 3.6 万人が不足すると予測もされている状況です。

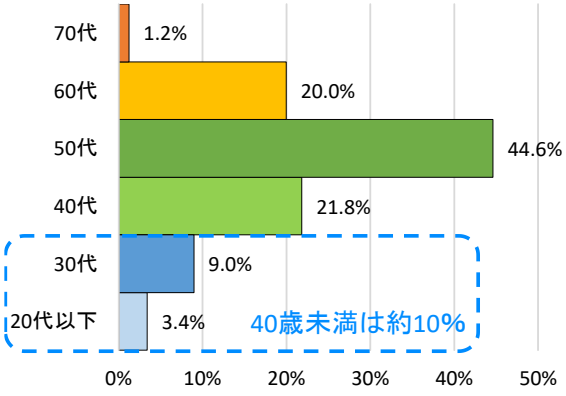


図　小金井市に関連するバス事業者の運転士の年齢構成

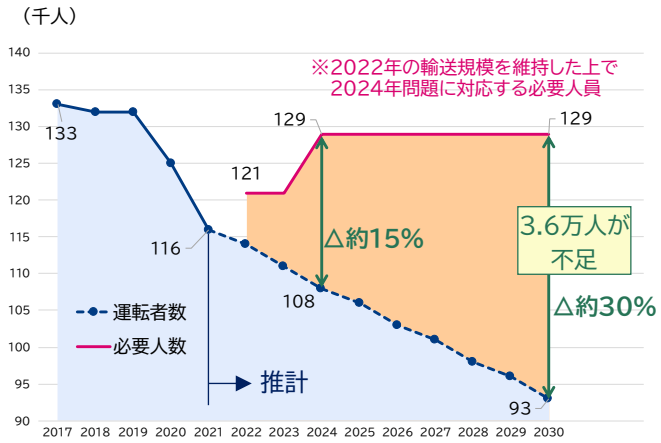


図　バス運転士不足の予測(全国)

出典:小金井市のバス事業者提供資料(令和 6 年 11 月確認時点の最新)を基に作成(左)

出典:国土交通省「国土幹線道路部会ヒアリング資料」(令和 5 年 10 月 5 日)をもとに作成(右)

1.2 2024年問題(改善基準告示の変更)

物流・運送業界の働き方改革に伴い、バス運転士の拘束時間の上限や休息期間等が定められた「自動車運転者の労働時間等の改善のための基準(改善基準告示)」が改正され、令和 6(2024)年に適用されました。

この改善基準告示によって、バス運転士が1日当たりに働ける時間が減少し、時間外労働によるダイヤの維持も厳しい状況にあります。



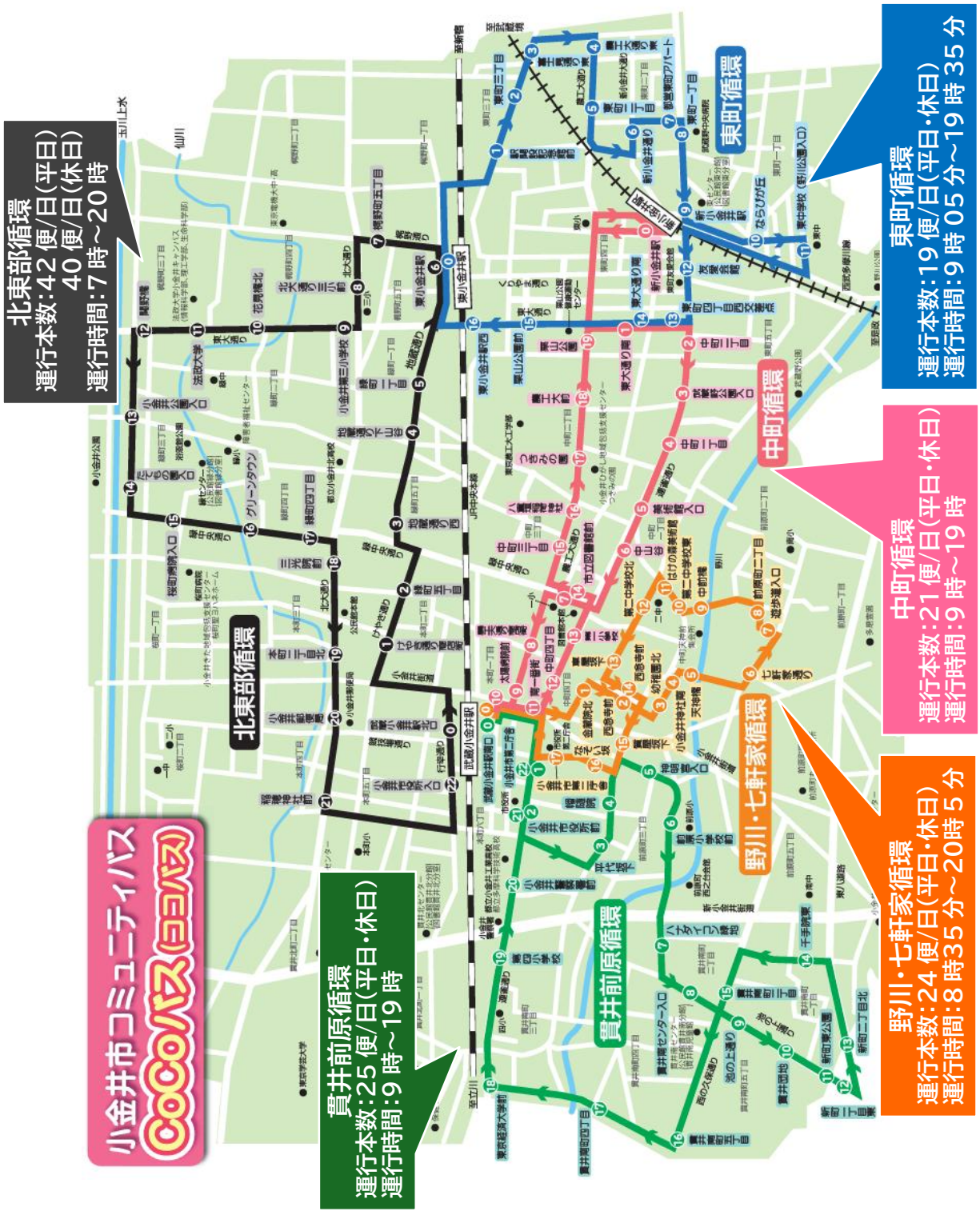
図　バス運転士の労働時間等の基準(抜粋)

出典:厚生労働省「バス運転者の改善基準告示が改正されています！」リーフレットより抜粋

2 ルート再編

2.1 現在の運行ルート

令和9年3月までの各路線のルート、運行状況はそれぞれ以下のとおりです。



2.2 再編検討の経緯

2.2.1「コミュニティバス運行事業に係る協議の申し入れ」

京王バス株式会社より、令和8年度末をもってCoCoバス東町循環及び中町循環の運行受託を終了するとの協議申し入れを受けました。

【理由】
東町循環:4 ルートのうち最も利用者が少ない
中町循環:鉄道利用により一定の移動について補完ができる

1) 背景

- 在籍運転士の平均年齢の上昇に伴う定年退職者数の増加
- 運転士の処遇改善を実施するも必要な要員数には足りず、運転士は不足している状況
- 一般路線バスは移動需要の減少と要員不足を理由として、減便・運行時間帯の縮小など、すでに段階的な効率化を実施

2) 京王バスの対応と判断

- 運賃改定を行い、収入増を原資とした運転士の処遇改善(給与引き上げ、おかえり採用)による確保策の実施
- 一般路線バスについて、不採算路線・深夜帯のダイヤを効率化するも運転士不足が解消されず、黒字路線も含めた減便・路線廃止を伴うダイヤ改正を実施

2.2.2 考え方・対応

地域の重要な交通手段について、迅速に持続可能な交通ネットワークを再構築する必要があり、以下のとおり協議を実施しました。

1) 京王バスと市との協議を実施

2路線の継続運行に向けて、補助金の増額や創設、運転士確保の協力、国・東京都へ要望等を上げることの提案を実施しましたが、バスの台数を減らすという効率化は避けられないとの見解でした。

よって、**路線バスの維持も難しい状況の中、それを補完するコミュニティバスだけを維持すればよい問題ではなく、市民の重要な移動手段である路線バスも含めた地域公共交通ネットワークのあり方を改めて考えていくことが必要**であることを両者で確認しました。そして、運転士数が今後も減少していくことを前提として、**持続可能な地域交通体系について具体案を協議**していくことで合意しました。

2) 小金井市の対応

小金井市地域公共交通活性化協議会に部会を設置し、令和7年1月から令和8年9月にかけて交通ネットワークの再編の方向性や具体案を検討することとしました。

CoCoバス東町循環及び中町循環を廃止した場合、公共交通不便地域が大きく拡大してしまいます。両路線を存続させるため、市内を運行する**路線バスも合わせて1日につき京王バスのバス2台分**に相当する見直しを行う(=公共交通ネットワークを再編する)こととしました。

2.3 検討の前提条件

2.3.1 前提条件の整理

検討にあたって、以下のとおり前提条件を整理しました。

■交通空白地域※を極力作らない

- 本数の減少などにより、CoCo バス運行ガイドラインの運行基準（運行時間帯や運行頻度等）を満たさず公共交通不便地域となることも想定されるが、広範囲において交通手段が存在しない地域が発生しないよう配慮した再編検討を行うこと。
- ここでいう広範囲とは、部会において許容範囲を議論し、協議会において了承を得るものとする。
- なお、狭隘道路等により車両制限令を満たさない、安全運行が難しい場合などやむを得ない事情も加味して考える。

※ここで言う「交通空白地域」とは全く公共交通の運行がない地域という意味で使用

■CoCo バス・路線バス双方で検討する

- CoCo バスと周辺路線バスを合わせて検討し、運転士数を減らした運行方法等で地域の交通の効率化を図り、持続可能な交通ネットワークを構築する。

■協議会・部会により検討する

- 協議会及び協議会の部会を設置して、具体的な協議を進めていく。
- 部会のメンバーは、小金井市地域公共交通活性化協議会条例の規定により協議会委員の中から会長が指名する。ただし、協議の内容によっては、必要に応じて会長が認めた場合は委員以外の者を参加させることができる。
- 部会については、事業者の経営の根幹に関わる発言及び資料提供があること等を考慮し、非公開での実施を想定する。ただし、部会の協議内容は、直後の協議会に報告し、連携して進めていくため、協議の進捗及び公開可能な内容については随時、公にしていくものとする。

■京王バス以外の事業者も視野に入れて検討する

- 協議の方向性、内容の具体化にあたって、京王バス以外の事業者の連携も視野に入れた検討を行う。
- 車両は11人以上、定時定路線での運行を前提とする。

■その他

- 新庁舎へのアクセス手段については、別途市全体としての検討事案であるため、本検討とは切り離す。
- 路線バスの変更等も考慮し、申し入れにある運行終了予定の令和9年3月の6か月前である令和8年9月までに再編に関する協議を調える。
- 京王バスにおいて運転士不足の改善等、状況が変わった場合には、現状維持も有り得るものとする。

2.3.2 再編対象

CoCoバスと、市内を運行する路線バス（京王バスが運行する路線）の状況を分析し検討した結果、再編の対象とする CoCo バスと路線バスを抽出しました。

：再編対象

	路線と使用台数	現状を踏まえた再編対象の考え方
CoCo バス	中町循環（1台）	・ 路線バスの運行がない地域のため、廃止した場合、公共交通不便地域が拡大 ・ 路線を継続しつつ再編できる可能性あり
	東町循環（1台）	
	北東部循環（2台）	・ 2台で20分に1本運行中。CoCo バスの運行基準（30分に1本）を上回る運行をしている ・ 他の路線と比較して再編できる可能性があるが利用者数が多いことへの配慮が必要
	貫井前原循環（2台）	・ 既に路線バスと一体となった再編を実施済み（令和5年4月）で今回の再編の検討対象とはしない ・ 国分寺崖線の高低差など、地域特性を考慮する必要あり
	野川・七軒家循環（ミニ1台）	・ つくば観光交通が運行しており今回の再編の検討対象とはしない
路線バス	関野橋循環（1台）	・ CoCoバスの路線と一部重複して運行している ・ 京王バスの見解として、運行本数が多い一方、採算性に課題があり、減便を含めた再編が必要という認識
	その他 京王バスの路線	・ 既に京王バスにて減便・廃止など対応済み ・ CoCoバスの近くを運行する路線もなく、再編は難しい

再編対象路線（昼間時間帯の運行状況）

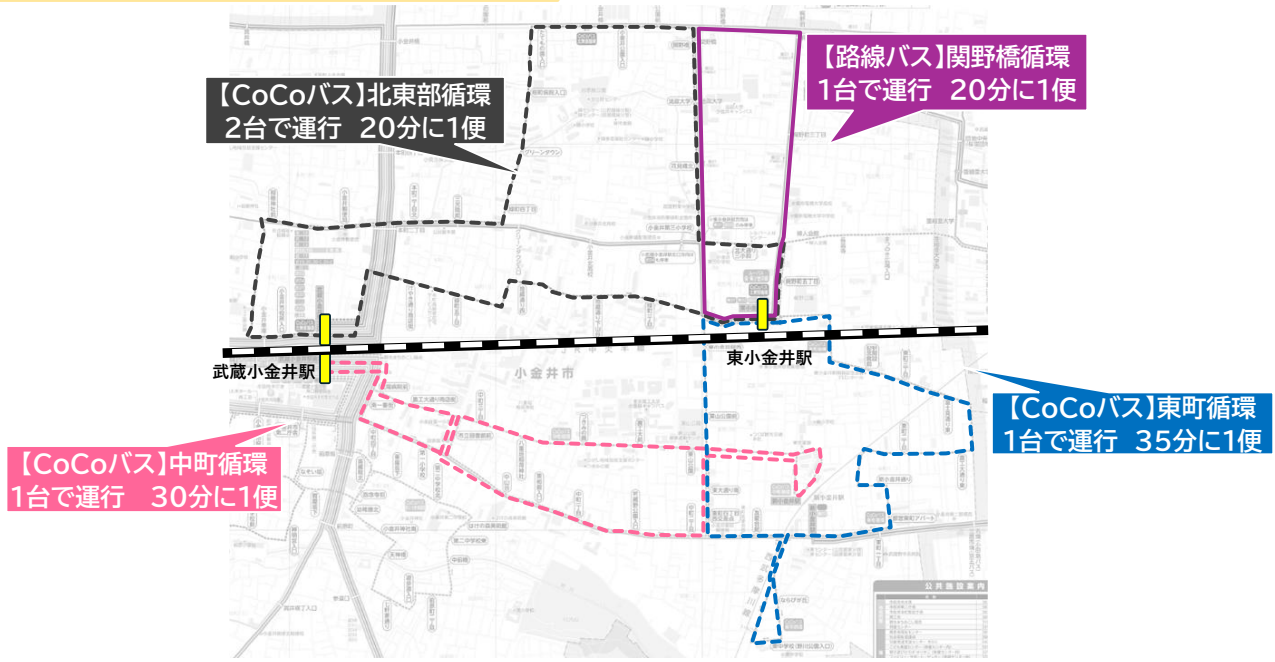


図　再編対象

2.4 再編路線の検討

2.4.1 市北部の再編について

1) 主な意見･課題に対する検討結果

地域懇談会･オープンハウスの主な意見及び地域公共交通活性化協議会･部会で協議した課題等とそれに対する検討結果は以下のとおりです。

主な意見･課題	検討結果
路線バスの継続可能性をみると、現在の利用状況、運転士不足の状況から、京王バスとして路線バス関野橋循環の減便や廃止が想定される。	・ 京王バスより廃止の申入れがあった、CoCo バス中町循環･東町循環だけでなく、路線バス等も含め再編の対象とし、減便や路線の変更により交通空白地域を出さないよう市内の全体の交通ネットワークを構築する。 ・ 路線バス関野橋循環と一部路線が重複するCoCoバス北東部循環を統合することで、京王バスのバス1台分相当の削減を図る。 ・ 朝夕の利用が多い時間帯の乗り残し課題への対応として、京王バスと市で改めて協議した結果、朝夕は路線バス関野橋循環を継続する。
運転士不足によるルート再編の理由と検討の経過を北東部循環の利用者には理解してもらえるよう説明する必要がある。	
利用が多い時間帯は乗り残し等が生じる可能性もある。	
現在の関野橋循環の利用者のことなどを鑑み、CoCo バスで運行する場合も、北東部循環･関野橋循環それぞれ現在のルートで運行する案が良い。	・ 現状の利用者への影響が最小限となるよう、北東部循環と関野橋循環のルートや運行方法はできる限り現行通りとする。
関野橋循環は、路線バスから CoCo バスに変わるとシルバーパスや路線バスの定期券が使えなくなり不便である。	・ CoCo バスではシルバーパスの代替手段として高齢者割引を導入し、交通弱者の移動手段を確保しており、定期券が使用できないことと合わせて理解と周知に努める。
北東部循環は、減便に伴う乗り残しの可能性があるのではないか。	・ 平日の通常時の現在の利用者数から試算すると、乗り残しの可能性は低い。 ・ 雨天時やイベント時等の利用者数が多い場合の状況は、注視していく。

上に示した意見や課題をもとに、小金井市内にて広範囲において交通手段が存在しない地域が発生しないよう配慮した再編検討を行うこととし、市北部については、

CoCo バス北東部循環　と　路線バス関野橋循環　を対象

として、以降のとおり具体的な再編案の検討を行った。

2) 時間帯別の運行方法

日中は、現行の路線バス関野橋循環を廃止し、京王バスのバス1台分相当を削減します。

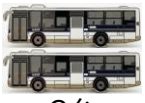
そこで、関野橋循環利用者の移動手段を確保するため、CoCo バス北東部循環が関野橋循環をカバーし、CoCoバスが二つの路線(関野橋循環と北東部循環)を交互に運行します。

よって、CoCo バス北東部循環、CoCo バス関野橋循環ともに、運行頻度は、以下のとおりとなります。

(1) 朝の時間帯(始発～9時発まで)

【CoCo バス北東部循環】　変更なし

【路線バス関野橋循環】　車両を1台減 → 10 分に 1 便から 20 分に 1 便

	現状		再編後	
ルート	CoCo バス 北東部循環	路線バス 関野橋循環	CoCo バス 北東部循環	路線バス 関野橋循環
台数	 3台	 2台	 3台	 **1台**
運行頻度	15分に1便	10分に1便	15分に1便	**20分に1便**

(2) 日中の時間帯(9時～16時台)

CoCo バス北東部循環と CoCo バス関野橋循環、それぞれのルートを交互に運行

【CoCo バス北東部循環】 20 分に 1 便から 30 分に 1 便

【CoCo バス関野橋循環】 20 分に 1 便から 30 分に 1 便

	現状		再編後
ルート	CoCo バス 北東部循環	路線バス 関野橋循環	CoCo バス 北東部循環・関野橋循環
台数	 2台	 1台	 **2台**
運行頻度	20分に1便	20分に1便	**30分に1便**

(3) 夕方の時間帯(17時台～20時台)

【CoCo バス北東部循環】　変更なし

【路線バス関野橋循環】　変更なし

※路線バス関野橋循環は、20時発が最終バス(3便カット)

	現状		再編後	
ルート	CoCo バス 北東部循環	路線バス 関野橋循環	CoCo バス 北東部循環	路線バス 関野橋循環
台数	 2台	 1台	 2台	 1台
運行頻度	20分に1便	20分に1便	20分に1便	20分に1便

3) 日中の北東部循環・関野橋循環の運行概要

日中(9 時～16時台)における CoCo バス北東部循環・CoCo バス関野橋循環の運行概要は以下のとおりです。

項　目	CoCo バス北東部循環	CoCo バス関野橋循環
起終点	武蔵小金井駅北口	東小金井駅北口
運行時間帯	7時～20 時	9時～16時＊
所要時間	40分/周	20 分/周
運行間隔	2便/時間(30分間隔)	2便/時間(30分間隔)
使用車両(乗客定員)	ポンチョ(35人) 2台	

※ 運行時間帯は、「始発便の出発時刻」～「最終便の出発時刻」を記載しています。

※ 所要時間は、路線を一周する時間に、起終点での乗降時間、運転士の休憩を加味した時間です。

＊ 利用者の多い朝夕時間帯(9時までと17時台以降)は、路線バス関野橋循環が運行します。

武蔵小金井駅出発後、北東部循環として東小金井駅に到着した後、関野橋循環のルートを運行します。
関野橋循環を運行して東小金井駅に到着後、北東部循環のルートを運行します。それで1周とします。

武蔵小金井駅 → 東小金井駅 → 関野橋循環ルートを運行 →
東小金井駅 → 北東部循環ルートを運行 → 武蔵小金井駅

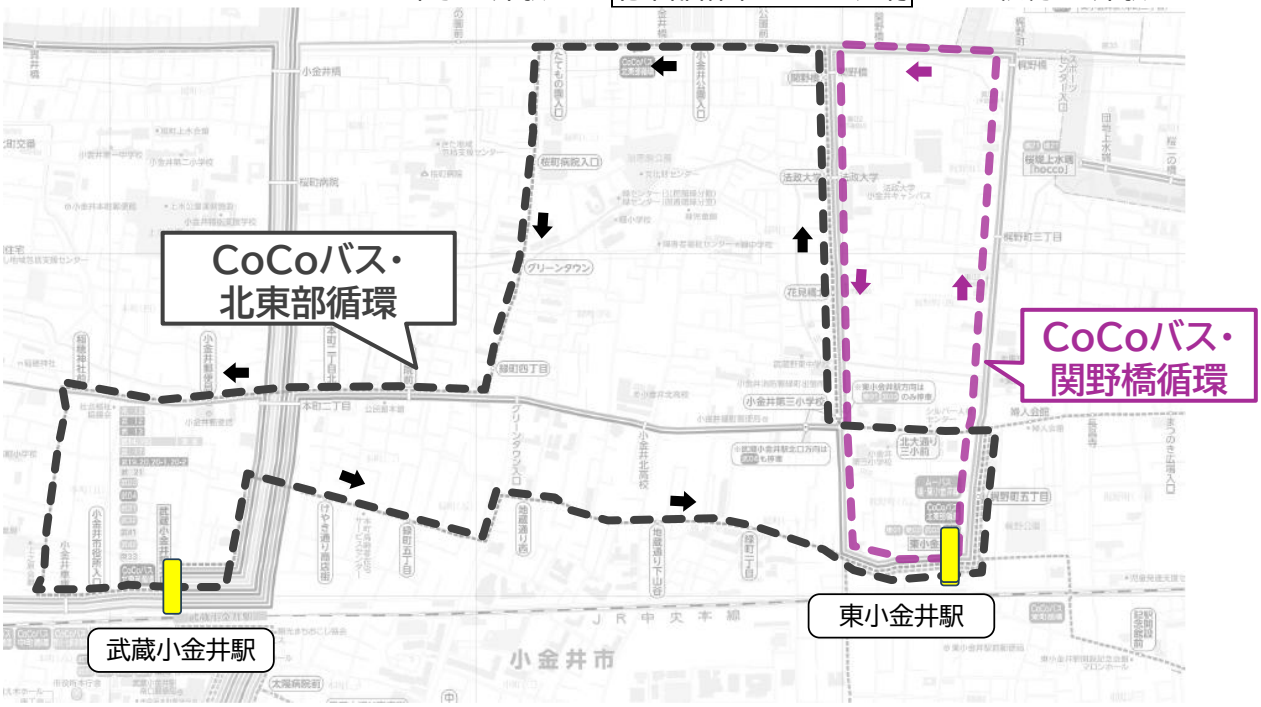


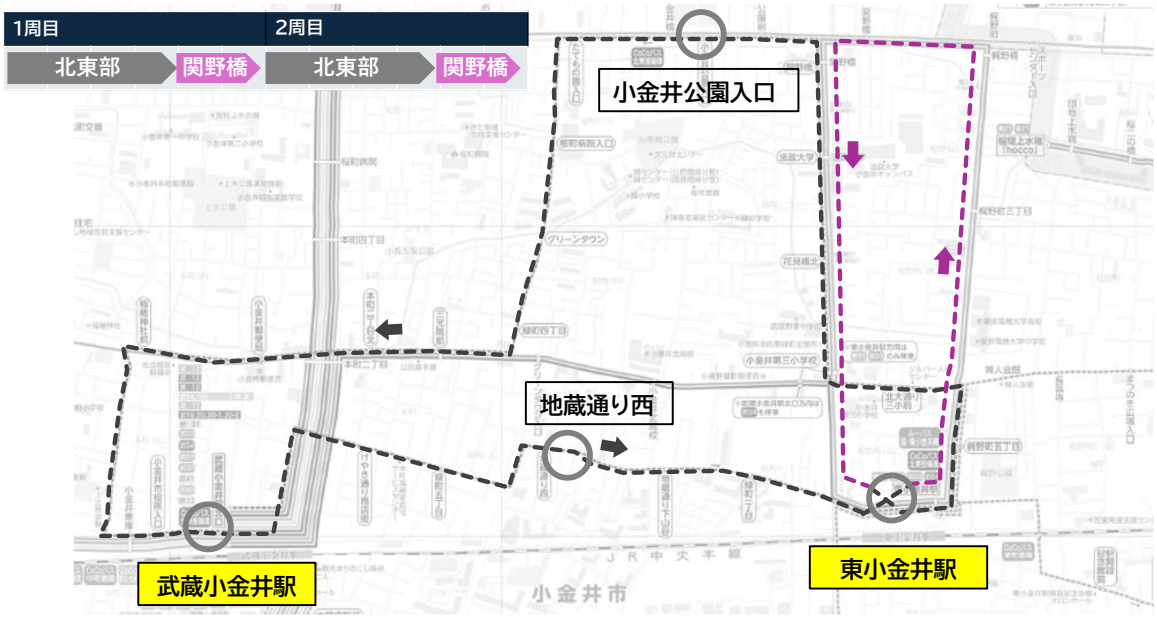
図 市北部のルート(日中時間帯)

東小金井駅における北東部循環と CoCo バス関野橋循環のまたぎ利用

昼間時間帯は、CoCo バス北東部循環と CoCo バス関野橋循環を合体して一つの路線として運行します。よって、東小金井駅をまたいで利用する場合は以下のとおりです。

例）地蔵通り西から乗車し、小金井公園入口バス停で下車する場合

乗客の行動パターン	東小金井駅での動き	運賃支払い回数
①乗り続ける	下車せず、乗ったまま	1回
②乗り直す	一旦、下車→再乗車	2回



東小金井駅のバス停乗り場

東小金井駅において、再編後の関野橋循環（路線バス、CoCo バス両方）は、現行の乗り場を利用します。北東部循環の乗り場も変更はありません。

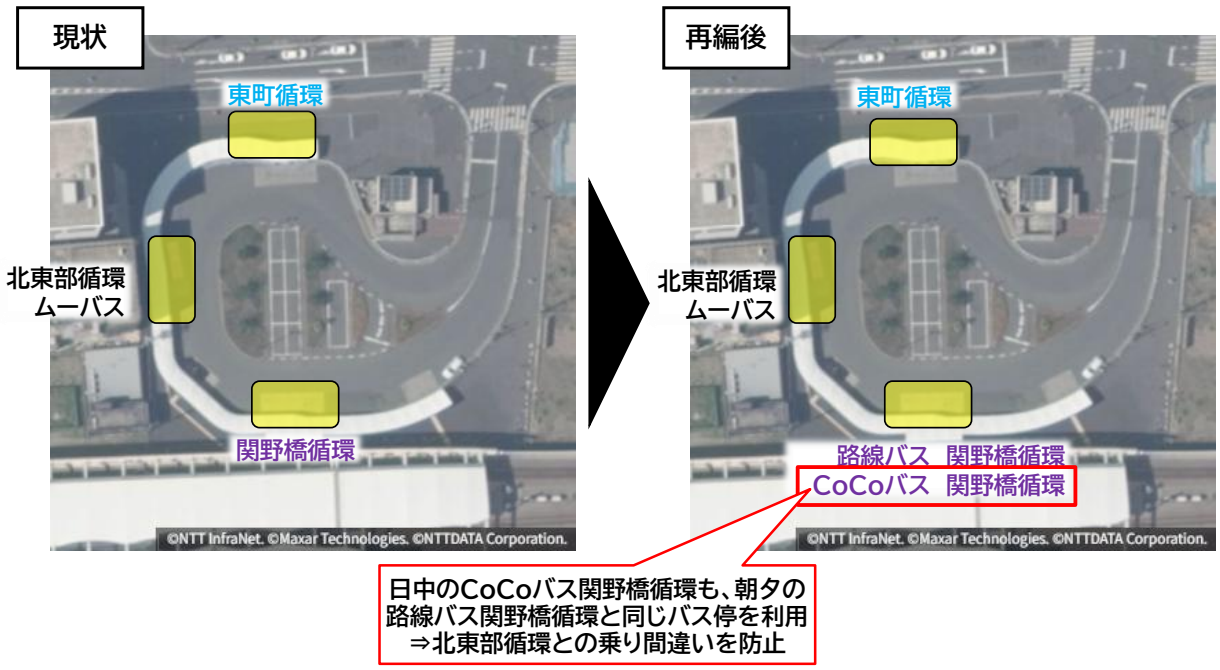


図　東小金井駅の乗降場所

日中の関野橋循環(東01・02)の運行

路線バス関野橋循環は朝の運行時と夕方の運行時で運行方向が異なります。

朝の時間帯(始発～9時発まで)	夕方の時間帯(17時台～20時台)
東 01 として時計回りに運行	東 02 として反時計回りに運行

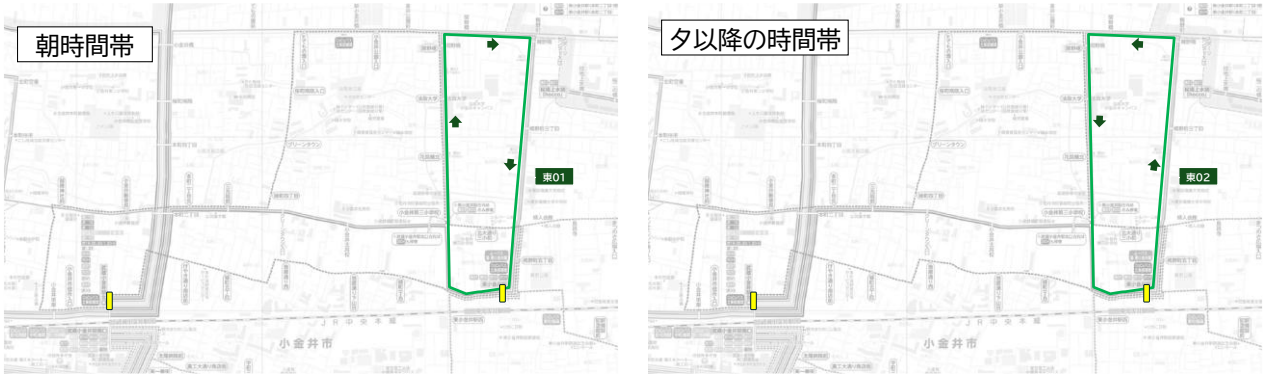


図　関野橋循環(東 01・02)の再編後の運行

関野橋循環(武 03・04)の運行

武蔵小金井駅と東小金井駅間を運行する路線バス(武 03・04)は、路線バス関野橋循環(東01・02)と同じ車両にて運行を行っています。路線バス関野橋循環(東01・02)の日中時間帯の運行変更に合わせて、路線バス(武 03・04)の運行にも変更が生じます。



図　関野橋循環(武 03・04)の再編後の運行

CoCo バス・路線バス関野橋循環の時刻表

武蔵小金井駅・東小金井駅の時刻表は以下のとおりです。

武蔵小金井駅北口

	時	平日					土日祝			
CoCo バス・路線バス	6	武03 19					武03 19			
	7	Co北東 00	Co北東 15	Co北東 30	Co北東 45		Co北東 00	Co北東 20	Co北東 40	
	8	Co北東 00	Co北東 15	Co北東 30	Co北東 40		Co北東 00	Co北東 20	Co北東 40	
	9	Co北東 00	Co関北 17	Co関北 47			Co北東 00	Co関北 17	Co関北 47	
CoCo バス	10	Co関北 17	Co関北 47				Co関北 17	Co関北 47		
	11	Co関北 17	Co関北 47				Co関北 17	Co関北 47		
	12	Co関北 17	Co関北 47				Co関北 17	Co関北 47		
	13	Co関北 17	Co関北 47				Co関北 17	Co関北 47		
	14	Co関北 17	Co関北 47				Co関北 17	Co関北 47		
	15	Co関北 17	Co関北 47				Co関北 17	Co関北 47		
	16	Co関北 17	Co関北 45				Co関北 17	Co関北 45		
CoCo バス・路線バス	17	武04 00	Co北東 20	Co北東 40			武04 00	Co北東 20	Co北東 40	
	18	Co北東 00	Co北東 20	Co北東 40			Co北東 00	Co北東 20	Co北東 40	
	19	Co北東 00	Co北東 20	Co北東 40			Co北東 00	Co北東 20	Co北東 40	
	20	Co北東 00					Co北東 00			

東小金井駅

	時	平日								土日祝						
CoCo バス・路線バス	6	東01 40								東01 40						
	7	東01 00	Co北東 10	東01 20	Co北東 25	Co北東 40	東01 40	Co北東 55		東01 00	Co北東 10	東01 20	Co北東 30	東01 40	Co北東 50	
	8	東01 00	Co北東 10	東01 20	Co北東 25	Co北東 40	東01 40	Co北東 50		東01 00	Co北東 10	東01 20	Co北東 30	東01 40	Co北東 50	
	9	東01 00	Co北東 10	武04 17	Co関 30	Co北 47				東01 00	Co北東 10	武04 17	Co関 30	Co北 47		
CoCo バス	10	Co関 00	Co北 17	Co関 30	Co北 47					Co関 00	Co北 17	Co関 30	Co北 47			
	11	Co関 00	Co北 17	Co関 30	Co北 47					Co関 00	Co北 17	Co関 30	Co北 47			
	12	Co関 00	Co北 17	Co関 30	Co北 47					Co関 00	Co北 17	Co関 30	Co北 47			
	13	Co関 00	Co北 17	Co関 30	Co北 47					Co関 00	Co北 17	Co関 30	Co北 47			
	14	Co関 00	Co北 17	Co関 30	Co北 47					Co関 00	Co北 17	Co関 30	Co北 47			
	15	Co関 00	Co北 17	Co関 30	Co北 47					Co関 00	Co北 17	Co関 30	Co北 47			
	16	Co関 00	Co北 17	Co関 30	Co北 47	Co関 58				Co関 00	Co北 17	Co関 30	Co北 47	Co関 58		
CoCo バス・路線バス	17	Co北 15	東02 20	Co北東 30	東02 40	Co北東 50				Co北 15	東02 20	Co北東 30	東02 40	Co北東 50		
	18	東02 00	Co北東 10	東02 20	Co北東 30	東02 40	Co北東 50			東02 00	Co北東 10	東02 20	Co北東 30	東02 40	Co北東 50	
	19	東02 00	Co北東 10	東02 20	Co北東 30	東02 40	Co北東 50			東02 00	Co北東 10	東02 20	Co北東 30	東02 40	Co北東 50	
	20	東02 00	Co北東 10	武03 17						東02 00	Co北東 10	武03 17				

※時刻表は案であり、変更の可能性があります。

2.4.2 市南部の再編について

1) 主な意見・課題に対する検討結果

地域懇談会・オープンハウスの主な意見及び地域公共交通活性化協議会・部会で協議した課題等とそれに対する検討結果は以下のとおりです。

主な意見・課題	検討結果
京王バスからの要請により、市内全体で 1 日あたり 2 台分の削減が必要である。 市南部でみると、1 日あたり 1 台分の削減が必要。	・ 中町循環、東町循環を 1 台で運行する案と、中町循環は現在の運行のままとし、東町循環は CoCo バス・ミニで運行する案が考えられる。 ・ 中町循環、東町循環を 1 台で運行する場合、運行間隔が 1 時間以上となり、また遅延の影響が両路線に生じることから、中町循環は現在の運行のまま、東町循環を CoCo バス・ミニで運行する案(東町の車両のみ変更、その他ダイヤ等は変更なし)とする。
	・ 中町循環、東町循環の運行終了の申し入れから検討を開始した。CoCo バス・ミニに車両は変わるものの運行が継続されるのはありがたいとの意見を地域からいただいている。

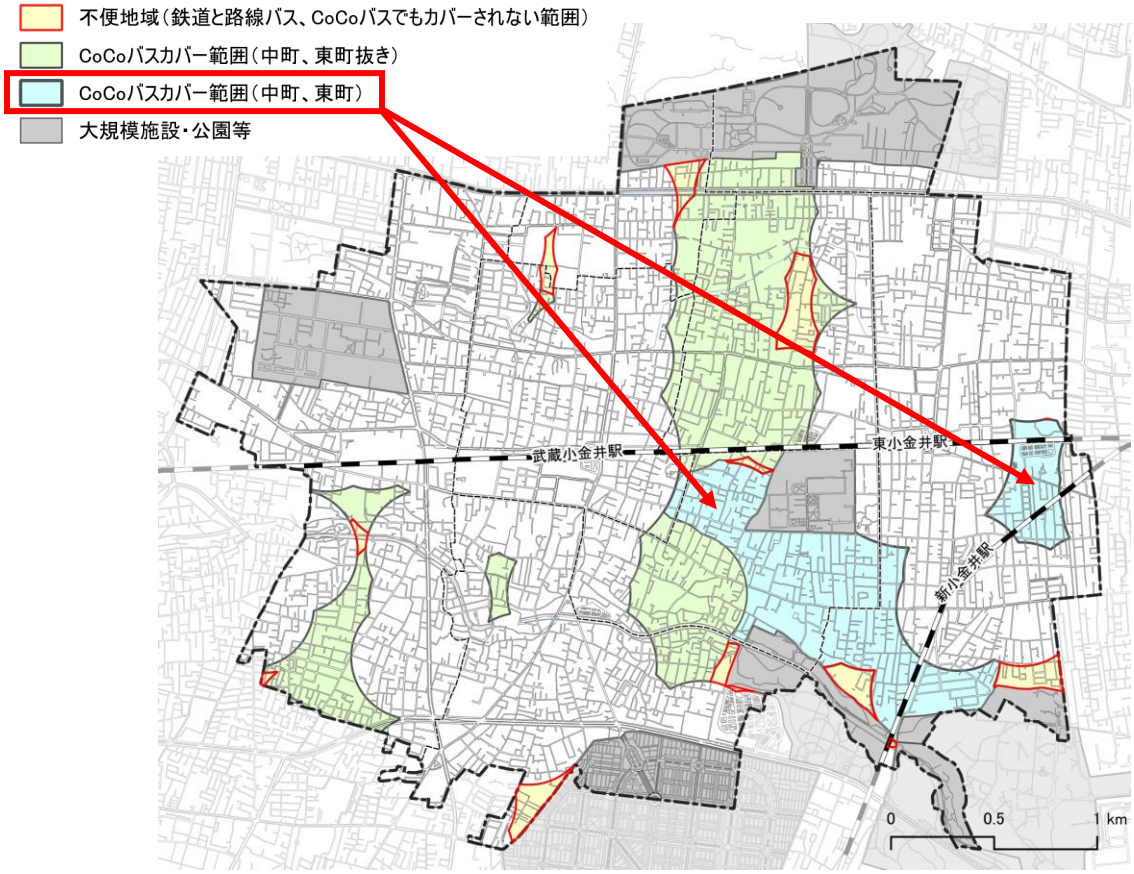


図 中町循環・東町循環廃止の場合の交通不便地域カバー範囲

2) 中町循環の再編について

(1) 中町循環の主な意見・課題に対する検討結果

地域懇談会・オープンハウスの主な意見及び地域公共交通活性化協議会・部会で協議した課題等とそれに対する検討結果は以下のとおりです。

主な意見・課題	検討結果
武蔵小金井駅や病院に行く際に中町循環を利用している。廃止となると移動手段がなくなってしまう。	・ 中町循環が廃止もしくは運行頻度が低下する案を採用する場合、周辺地域が公共交通不便地域となる。 ・ 地域の方の移動手段がなくなってしまうことから、現在の運行ルート及び運行頻度等を維持する。 ・ 年間の利用者数から、中町循環を CoCo バス・ミニにするのは難しい。
連雀通りを運行する路線バスの運行本数も少なく、中町循環を廃止すると公共交通不便地域が生じてしまう。	
令和6年度実績で、中町循環の利用者数は約 146,000 人/年、東町循環は約 80,000 人/年である。	

(2) 中町循環の再編

ルートや運行間隔、使用車両は現在の中町循環から変更はありませんが、京王バスの営業所を小金井支所に移し、以下の変更を行います。(他の京王バス路線も含めて変更)

変更項目	現状	再編後	理由及び補足
起終点	新小金井駅(駅北側)	武蔵小金井駅南口	運転士の交代を、営業所の近くとなる武蔵小金井駅で行うことができる。
始発時刻	9時	8 時 43 分	起点を武蔵小金井駅に変更し、利用実績を踏まえて始発時刻を早める。 武蔵小金井駅: 始発 9:13→ 8:43 終発 19:13→18:43 新小金井駅 : 始発 9:00→ 8:55 終発 19:00→18:55
終発時刻	19時	18 時 43 分	
時刻表	遅れが生じやすい	実際の所要時間データを基に変更 → 定時性を確保	・遅れやすい「新小金井駅→武蔵小金井駅」の所要時間を2分増やす。 ・余裕のある「武蔵小金井駅→新小金井駅」の所要時間を2分削る。

（3）中町循環の運行概要

起終点を武蔵小金井駅南口として、運行時間帯を変更します。

項　目	再編後の運行概要
起終点	武蔵小金井駅南口
運行時間帯	8 時 43 分～18 時 43 分
所要時間	30分/周
運行間隔	2便/時間（30分間隔）
使用車両（乗客定員）	ポンチョ1台（35人）

※　運行時間帯は、「始発便の出発時刻」～「最終便の出発時刻」の形で記載しています。

※　所要時間は、路線を一周する時間に、起終点での乗降時間、運転士の休憩を加味した時間です。

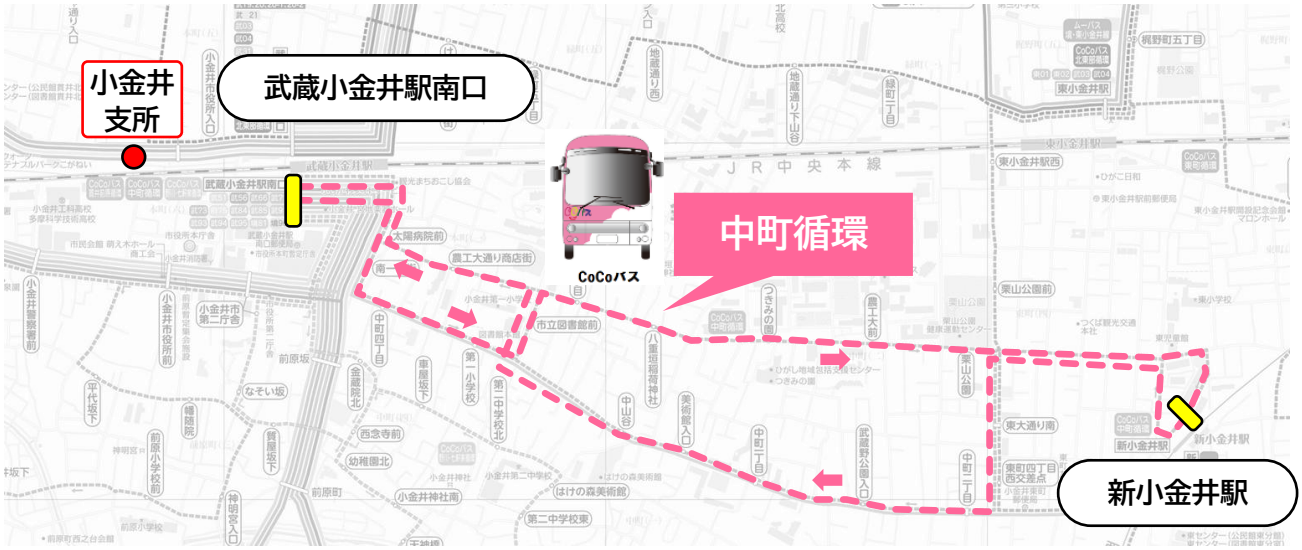


図　中町循環のルート

中町循環の運行時間帯と時刻表

利用状況を考慮し、始発時間を早めます

最終便の時間を早めます

番号	バス停留所名	1便	2便	3便～19便	20便	21便
10	武蔵小金井駅南口	8:43	9:13		18:13	18:43
11	南一番街	8:44	9:14		18:14	18:44
12	中町四丁目	8:45	9:15		18:15	18:45
13	第一小学校	8:46	9:16		18:16	18:46
14	市立図書館前	8:47	9:17		18:17	18:47
15	中町三丁目	8:47	9:17		18:17	18:47
16	八重垣稲荷神社	8:48	9:18		18:18	18:48
17	つきみの園	8:49	9:19		18:19	18:49
18	農工大前	8:49	9:19		18:19	18:49
19	栗山公園	8:50	9:20		18:20	18:50
0	新小金井駅	8:55	9:25		18:25	18:55
1	東大通り南	8:57	9:27		18:27	18:57
2	中町二丁目	8:58	9:28		18:28	18:58
3	武蔵野公園入口	8:58	9:28		18:28	18:58
4	中町一丁目	8:59	9:29		18:29	18:59
5	美術館入口	9:00	9:30		18:30	19:00
6	中山谷	9:00	9:30		18:30	19:00
7	市立図書館前	9:01	9:31		18:31	19:01
8	農工大通り商店街	9:02	9:32		18:32	19:02
9	太陽病院前	9:03	9:33		18:33	19:03
10	武蔵小金井駅南口(着)	9:10	9:40		18:40	19:10

この間30分間隔で運行

武蔵小金井駅が起終点となります

新小金井駅→武蔵小金井駅のバス停の時刻表(毎時○○分)が変更となります

※時刻表は案であり、変更の可能性があります。

3）東町循環の再編について

（1）東町循環の主な意見・課題に対する検討結果

地域懇談会・オープンハウスの主な意見及び地域公共交通活性化協議会・部会で協議した課題等とそれに対する検討結果は以下のとおりです。

主な意見・課題	検討結果
廃止もしくは運行頻度が低下すると公共交通不便地域となる。	・ 運行廃止もしくは運行頻度の低下により、公共交通不便地域を生じさせないよう、東町循環は CoCo バス・ミニにて運行する。
CoCo バス・ミニでの運行の場合、乗り残しが生じるのではないか。	・ CoCo バスの乗車定員 36 名に対して、CoCo バス・ミニは 12 名であり、利用できる人数は減少する。一方、平日の通常時の利用者数から試算すると、乗り残しが生じるような状況ではない。 ・ 雨天時等の利用者数が多い場合の状況は、注視していく。
東町循環の東小金井駅でのバス停を、現在の北口ではなく過去に運行していた南口に再度変更ができないか。	・ 令和 5 年 4 月の再編検討において、歩行者等の安全性の観点から東小金井駅南側のくりやま通りの運行をやめてほしいとの意見があり、地域関係者や自治会・町会代表者との協議（東町地域会議）を行い、現在の運行ルートに決定した経緯がある。 ・ 東小金井駅南口の道路は幅員が狭く、小金井警察署に確認をしたところ、CoCo バス、CoCo バス・ミニ共に車両制限令の基準を満たさないため、許可することはできないことを確認しており、東小金井駅南口への運行はできない。
東町一丁目の一部がまだ公共交通不便地域である。CoCo バスを運行することはできないか。	・ 東町一丁目は道路幅員が狭く、車両制限令から運行は難しい。 ・ 当該地域から近い東町一丁目バス停又はならびが丘バス停を利用していただくよう働きかけを行う。
東町循環の運行ダイヤを前のように毎時同ダイヤに戻せないか。	・ 令和5年4月の再編検討において実施した東町地域会議で、地域関係者や自治会・町会代表者との協議のもと、運行頻度や運行ダイヤのわかりやすさよりも、公共交通不便地域を解消するため運行範囲を優先するルートとした経緯がある。 ・ 今回の再編後も運行ダイヤの変更は想定していない。
CoCo バス・ミニでの運行の場合 IC カードが利用できず不便。	・ 他市事例も参考に導入の検討を行う。
東小金井駅バス停の位置を駅近くに変更できないか。	・ 他のバス路線等の発着の状況を確認しながら今後検討を行う。

上に示した意見や課題をもとに、交通手段が存在しない地域が発生しないよう配慮した再編検討を行うこととし、東町循環については、

運行事業者の切替え及び、ハイエース車両への変更

を行うこととし、以降のとおり具体的な再編案の検討を行った。

（2）東町循環の運行概要

東町循環を CoCo バス・ミニに切り替え、運行は野川・七軒家循環を運行するつくば観光交通に変更します。これにより京王バスのバス1台を削減します。その他の運行内容は変更ありません。

項　目	再編後の運行概要
起終点	東小金井駅北口
運行時間帯	9 時 05 分～19 時 35 分
所要時間	35 分/周
運行間隔	約2便/時間（35 分間隔）
使用車両（乗客定員）	ハイエース1台（12 人）

※ 運行時間帯は、「始発便の出発時刻」～「最終便の出発時刻」の形で記載しています。
※ 所要時間は、路線を一周する時間に、起終点での乗降時間、運転士の休憩を加味した時間です。
※ 東町循環の運行間隔は、令和5年の再編における東町地域会議の結果、「1周の運行時間が再編運行基準である 30 分を超えることも想定されますが、運行範囲を優先する」こととしました。



図　東町循環のルート

※ 小金井警察署から、踏切箇所「○」のガードマンはCoCoバス・ミニ車両であれば不要との見解が示されています。
※ 「東小金井駅」と「駅開設記念館前」の間に、バス停を一つ新設します（名称：梶野公園）。

4）野川･七軒家循環の再編について

ルートや運行間隔、使用車両は現在の野川･七軒家循環と変更はありませんが、以下の変更を行います。

（1）時刻表の変更

【現状の課題】

・ 令和5年4月の再編時から、武蔵小金井駅において、野川･七軒家循環と貫井前原循環が同時刻の発車になっている便があります。現在は、野川･七軒家循環が後から出発する運用をしていますが、起点における待機時間の重複や、車両の錯綜による出発の遅れの懸念があります。

【改善案】

・ 野川･七軒家循環の時刻表を全て3分後ろ倒しとし、武蔵小金井駅における貫井前原循環、中町循環との発車時刻をずらします。

項　目	現状	再編後
起終点	武蔵小金井駅南口	武蔵小金井駅南口
運行時間帯	8時35分～20時5分	8時38分～20時8分

※ 運行時間帯は、「始発便の出発時刻」～「最終便の出発時刻」の形で記載しています。

※ 所要時間は、路線を一周する時間に、起終点での乗降時間、運転士の休憩を加味した時間です。

野川･七軒家循環の時刻表の想定（武蔵小金井駅南口）

現行：貫井前原循環と野川･七軒家循環の
11:15　13:35　16:05　18:35　が同発

時	現行ダイヤ						
8	野 35						
9	貫 00	野 05	中 13	貫 25	野 35	中 43	貫 50
10	野 05	中 13	貫 15	野 35	貫 40	中 43	
11	野 05	貫 05	中 13	貫 30	野 35	中 43	貫 55
12	野 05	中 13	貫 20	野 35	中 43	貫 45	
13	野 05	貫 10	中 13	野 35	貫 35	中 43	
14	貫 00	野 05	中 13	貫 25	野 35	中 43	貫 50
15	野 05	中 13	貫 15	野 35	貫 40	中 43	
16	野 05	貫 05	中 13	貫 30	野 35	中 43	貫 55
17	野 05	中 13	貫 20	野 35	中 43	貫 45	
18	野 05	貫 10	中 13	野 35	貫 35	中 43	
19	貫 00	野 05	中 13	野 35			
20	野 05						

変更後：野川･七軒家循環を3分後ろ倒し
（中町循環は武蔵小金井駅南口起点に変更）

時	変更ダイヤ						
8	野 38	中 43					
9	貫 00	野 08	中 13	貫 25	野 38	中 43	貫 50
10	野 08	中 13	貫 15	野 38	貫 40	中 43	
11	貫 05	野 08	中 13	貫 30	野 38	中 43	貫 55
12	野 08	中 13	貫 20	野 38	中 43	貫 45	
13	野 08	貫 10	中 13	貫 35	野 38	中 43	
14	貫 00	野 08	中 13	貫 25	野 38	中 43	貫 50
15	野 08	中 13	貫 15	野 38	貫 40	中 43	
16	貫 05	野 08	中 13	貫 30	野 38	中 43	貫 55
17	野 08	中 13	貫 20	野 38	中 43	貫 45	
18	野 08	貫 10	中 13	貫 35	野 38	中 43	
19	貫 00	野 08	野 38				
20	野 08						

※時刻表は案であり、変更の可能性があります。

（2）野川･七軒家循環の運行概要

貫井前原循環が同時刻の発車を避け、運行時間帯を変更します。

項　目	再編後の運行概要
起終点	武蔵小金井駅南口
運行時間帯	8 時38分～20時8分
所要時間	30分/周
運行間隔	2便/時間（30分間隔）
使用車両（乗客定員）	ハイエース1台（12人）

※　運行時間帯は、「始発便の出発時刻」～「最終便の出発時刻」の形で記載しています。

※　所要時間は、路線を一周する時間に、起終点での乗降時間、運転士の休憩を加味した時間です。



図　野川･七軒家循環ルート

5）貫井前原循環の再編について

既に令和5年4月に路線バスと一体となった再編を実施済みであり、今回は貫井前原循環の変更はありません。以下に運行概要を示します。

項　目	再編後の運行概要
起終点	武蔵小金井駅南口
運行時間帯	9 時 00 分～19 時 00 分
所要時間	50 分/周
運行間隔	2.5 便/時間（25 分間隔）
使用車両（乗客定員）	ポンチョ 2 台（35 人）

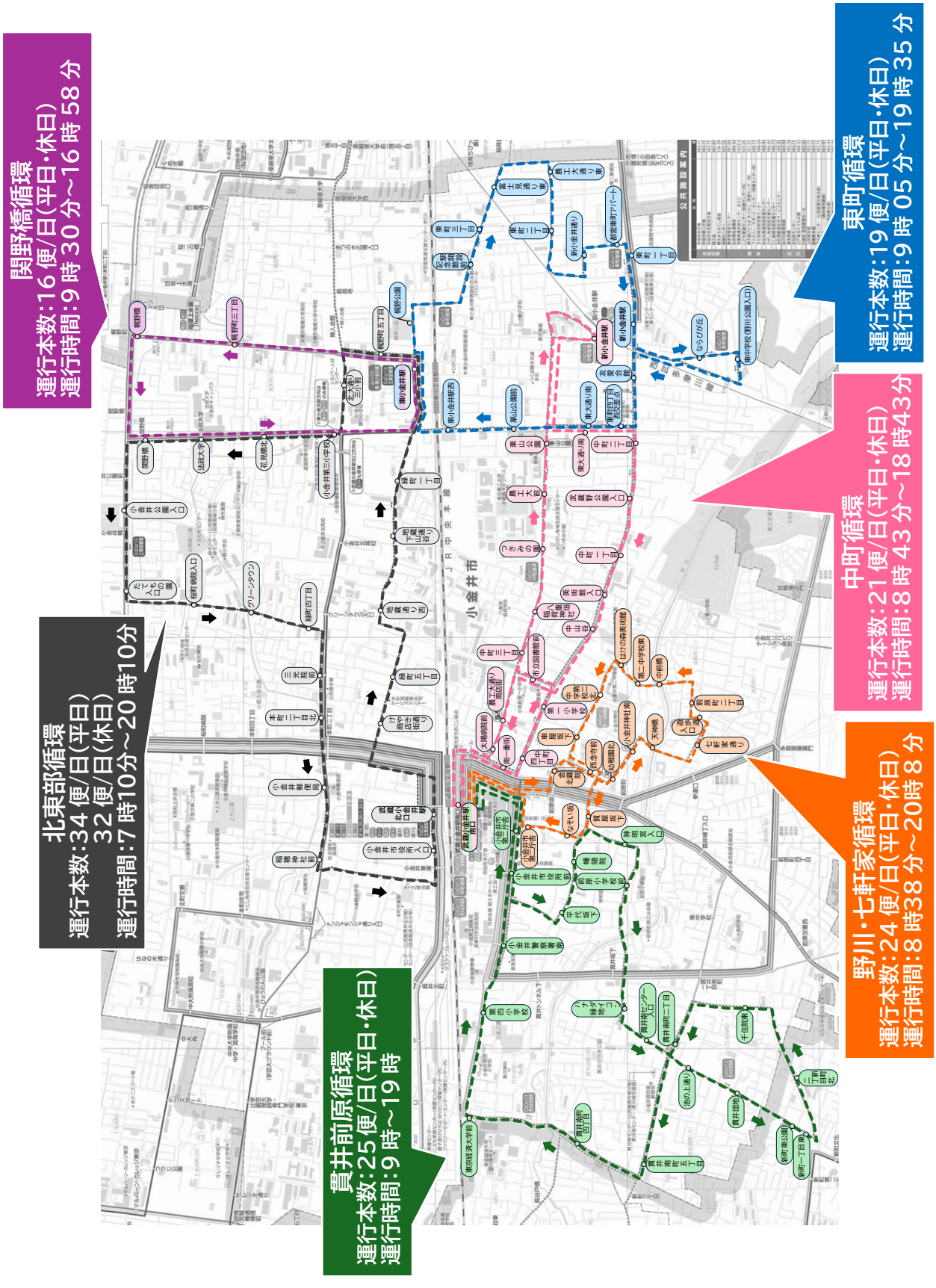
※　運行時間帯は、「始発便の出発時刻」～「最終便の出発時刻」の形で記載しています。

※　所要時間は、路線を一周する時間に、起終点での乗降時間、運転士の休憩を加味した時間です。



図　貫井前原循環ルート

2.5 再編後の運行ルート



3 運賃・割引制度

3.1 小金井市内を運行する路線バスの運賃の状況

小金井市内を運行する路線バスの初乗り料金は、各事業者ともに改定されています。

- 令和 5 年 9 月に、CoCo バスの運行事業者である京王バスが 200 円に運賃改定
- 令和 8 年 7 月に、西武バスが 180 円から 200 円に運賃改定
- その他、市内を運行する路線バスの運賃も随時改定

●市内を運行する路線バスの初乗り運賃は概ね 200 円以上になります。
●また、今後も更に改定する可能性が大きいと考えられます。
●過去にも、CoCo バス等のコミュニティバスとの競合により路線バスの運行本数の減少を招いた経緯があり、料金差があると市内の地域公共交通の持続可能性が困難となる可能性があります。

小金井市内を運行するバスの運賃

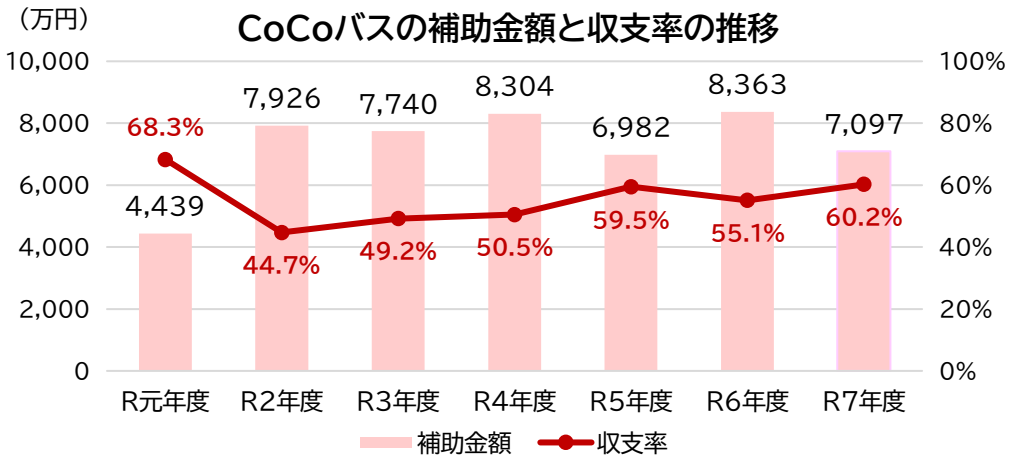
小金井市内を運行するコミュニティバス（区間均一料金）		
CoCo バス	令和 5 年 4 月～	180 円
ムーバス	―	100 円

路線バス（初乗り料金、区間均一料金含む）		
京王バス	令和 5 年 9 月～	200 円
小田急バス	令和 7 年 10 月～	250 円
銀河鉄道	令和 7 年 3 月～	220 円
西武バス	令和 8 年 7 月～	200 円
関東バス		180 円

1）CoCo バス補助金の増加

コロナ後の利用者数の戻りも頭打ちの傾向（在宅ワークの浸透、移動方法の多様化による）の中、増え続ける運行経費により、市が負担する補助金が増加しています。

- R2年度はコロナの影響で利用者数が大幅に減少し、運行収入が約 3 千万円以上も減
- R5年度に運賃改定（基本運賃 100 円→180 円）を行ったため、利用者の逸走はあったものの、収支が改善



【補足】

※令和 7 年度に補助金額が下がった主な理由

①運行収入額が増加したこと

②ポンチョの車両減価償却が終了したこと

※令和8年度から随時、耐用年数経過に伴うポンチョ車両の入替を予定しており、今後、運行経費の増加が見込まれる。

※交通ネットワーク再編により、東町循環をミニ車両に変更するため、新たに購入するワゴン車両の減価償却による運行経費の増加が見込まれる。

2）再編に係る運行経費の増加

再編に関連して以下の要因をもとに運行経費が増加することが想定されています。

- 人件費や物価の高騰、車両の入替え、世界情勢の変動に伴う燃料費の上昇等を受け、運行経費も年々増加
- 関野橋循環が CoCo バスに移行するため、新たに運行経費を計上
- 京王バスによる運行路線については、令和9年度から運行経費の算定方法の変更及び経費項目の追加を予定しており、増加する見込み
- つくば観光交通による運行路線については、令和8年度から近隣市でコミュニティバスの運行を受託しており、CoCo バス運転士との賃金の均衡を図るため、人件費等が増加する見込み

●人件費や物価等の高騰に伴い運行経費が増加しています。
●運行経費の増加に伴い市の負担が増加及び今後も増加する可能性が大きいです。
●３者（地域住民・バス事業者・市）の連携による持続可能なサービスの提供が困難になるおそれがあります。

3.2 運賃・割引制度の改定に対する意見

地域公共交通活性化協議会・部会で協議した主な課題等とそれに対する検討結果は以下のとおりです。

<table>
<tr><th>主な意見・課題</th><th>検討結果</th></tr>
<tr><td>運転士不足などバス事業者が置かれている状況を理解できた。
運賃を値上げしてでも運行を継続して欲しい。</td><td rowspan="2">・ 小金井市では、路線バスとコミュニティバスとで連携し、補完するような形で持続可能な公共交通を目指すという考えに基づき、基本運賃は路線バスの初乗り運賃と同等とし、適切なタイミングで運賃改定に関する協議を行う。
・ 今後も路線バスの運賃改定が随時に生じることを鑑み、CoCo バス運行ガイドラインの内容に加え、運賃改定に関する今後の方針を定める。</td></tr>
<tr><td>路線バスや他のコミュニティバスの運賃が上がっているなかでは運賃値上げもやむを得ない。
生活に関する物価上昇があるなか、CoCo バスの運賃値上げも必要である。</td></tr>
<tr><td>再編に便乗した値上げと誤解されないよう、運賃改定する理由の説明が必要である。</td><td rowspan="3">・ 路線バスとコミュニティバスが補完し合うという市の考え方や、財政状況・補助金の考え方を含め、市民から理解を得られるような資料整理を行い、丁寧な説明に努める。</td></tr>
<tr><td>東京 23 区や他市で 100 円運賃を維持している事例がある中で、市民から「なぜ小金井市は値上げするのか」と問われた場合の説明が重要である。</td></tr>
<tr><td>小金井市のコミュニティバスは、単純に安価な移動手段を提供するためではなく、路線バスを補完し、交通空白地域を極力作らないことを目的に運行しているものである。路線バスと CoCo バスが協働してネットワークを構築するためには、運賃の改定が必要と考える。</td></tr>
<tr><td>運賃に関する方針案は妥当であり、これをベースに検討を進めていくことに賛成である。
一方、回数券廃止にあたっては高齢者の利用割合が高いことから、代替策が不可欠であり、高齢者が円滑に利用できるICカード等の仕組みを早期に方向性として示すべきではないか。回数券廃止に代わる施策として、支払い機能を備えた高齢者向けICパスの導入を検討するなど、利用者・乗務員双方の負担軽減につながる対応が重要である。</td><td rowspan="2">・ 現状では、持ち運びしやすいカードタイプにした高齢者割引専用パスを乗るときに見せて支払ってもらうことを想定している。
・ 長期的な目標としては、キャッシュレス決済を目指すこととして、他自治体の情報収集を行うとともに、運行事業者と連携し利用しやすい仕組みの構築に向けて検討を行う。</td></tr>
<tr><td>回数券廃止に伴い、小児PASMO等を参考に、将来的なICカード活用を目指す方向性を示すことが望ましい。本来はすべてマイナンバーカードでできるようにするのが理想。</td></tr>
</table>

3.3 今後の運賃・割引制度

ＣｏＣｏバス運賃改定の決定内容について

ＣｏＣｏバスを取り巻く状況

●前回の運賃改定以降、**路線バスの運賃改定が相次いでいます**
→ 再編後ではありますが、改定の必要性を認識していました

●令和8年度には小金井市内を運行する**事業者の運賃が概ね200円以上**となります
→ 運賃の差による地域・利用者の不平等が生じます

●CoCoバスへの市の**補助金が年々増加**しています
令和元年度 ：4,439万円
令和6年度 ：8,363万円

●CoCoバスの**運行経費が更に増加する見込みです**
→ **市の負担額が増加**します
理 由
✓ 令和8年度：つくば観光交通の人件費（運転士賃金）等のアップ
✓ 令和9年度：京王バスの経費項目の追加等

●社会全体として、**人件費・物価が上昇**しています
→ 今後も上昇することが想定されます

運 賃 改 定 の 必 要 性

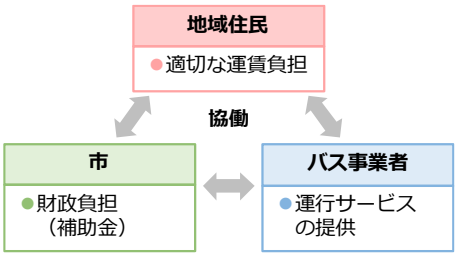
CoCoバス 基本方針①
路線バスを補完するサービスを提供

○路線バスと運賃面での競合が生じ、CoCoバスによる路線バスの補完と齟齬が生じます。

○市内公共交通の持続可能性を確保できる運賃体系にする必要があります。

CoCoバス 基本方針④
持続可能な運行形態・サービスの提供

○財政面での市の負担、経費削減努力による運行事業者の負担が増加し、3者連携による持続可能なサービスの提供が困難となります。



追加のコストをかけず持続可能な市内公共交通を維持するため、
令和9年4月からCoCoバスの運賃を改定

【令和9年4月の再編に関わる事項】

- 同一経路を運行するにもかかわらず、「路線バス関野橋循環」と「CoCoバス関野橋循環」の運賃格差が生じます
- 準備費用が発生します（バス停の盤面入替、公共交通マップ更新、GTFSデータの更新等）
  → **運賃改定時も発生する費用のため、再編と同時期にすることで、コスト削減となります**
- CoCoバス関野橋循環、東町循環に係る運賃部会を開催する必要があります
  → **運賃改定時に開催する必要があるため、同時期にすることで、開催負担が軽減します**

【その他】

- 高齢者割引の証明にしている「介護保険被保険者証」の変更が予定されています
  → **割引方法の変更を検討する必要があります**
- 今後も路線バスの改定が想定される中、CoCoバスの急激な値上による負担感を避けるため、情勢に応じ、適切に改定を行っていくことが望ましいと考えられます

運賃・割引制度の検討

運賃に関する方針

運行基準にて路線バスの初乗り運賃と同等との基準は決めているものの、基本運賃に関してのみであり、その他割引制度の考え方や改定のタイミング等についてまで明確に基準を定めていません。

今後も路線バスの運賃改定が随時に生じることを鑑み、CoCoバスガイドラインの内容に加え、運賃改定に関する今後の方針を定めることを検討しました。

運賃に関する方針

- 市内運行事業者の路線バスの運賃改定状況を確認し、適切なタイミングで協議会・運賃協議会（運賃部会）にて運賃改定に関する協議を行います。
- 小児運賃及び障害者割引は、国の規定及び事業者の規定に準拠し「基本運賃の半額※」とします。
- 小金井市独自の割引である高齢者割引は、小児運賃・障害者割引の運賃と同等の「基本運賃の半額※」とします。

※10円未満の端数が発生した場合は、10円単位に切り上げます

運賃・割引制度（令和９年４月から）

令和9年4月から　運賃・割引制度

赤字：金額変更箇所

	方針	運賃	対象者	支払い方法
基本運賃	市内を運行する路線バスの初乗り運賃と同等とします	大人　200円	－	現金・IC・タッチ決済*
		小児　100円	小学生まで	
障害者割引		大人　100円	－	
		小児　50円	小学生まで	
高齢者割引	小児運賃・障害者割引と同額とします	100円	・65歳以上 ・要介護認定を受けている介護保険第2号被保険者	高齢者割引カードを提示して、現金・IC・タッチ決済*
未就学児割引	変更なし	無料（人数制限なし）	未就学児	－
1日乗車券	変更なし	500円	－	車内で提示（車内で現金購入）

※CoCoバス・ミニでもICカードによる支払い方式を導入　＊京王バスの運行路線のみ

その他運賃に関する今後の変更事項

基本運賃のほか、運賃に関連する以下の事項についても、変更を行います。

高齢者割引の方法

- 介護保険被保険者証の交付制度に変更が見込まれており、今後、65歳以上を確認する方法として活用ができない可能性があります。
  - ✓ 65歳誕生月に全員に交付　→　要介護認定を受けた方にのみ交付
  - ✓ マイナンバーカードに紐づけ

    今後の継続的な運用を鑑みて、CoCoバス用の高齢者割引カードを発行します。

    ※高齢者割引カードの発行は、バス事業者の委託店（ふじかわフォトサービス）及びつくば観光交通本社を予定
- 発行されたCoCoバス用の高齢者割引カードを車内で提示することで割引を実施します。

＜これまで介護保険被保険者証を用いた確認をしていた経緯＞

- 割引カードの発行（市が作成・交付する想定）も検討しましたが、事務負担や作成費用等がかかるため、65歳以上の方が既に所持しており、一から発行する負担がないという理由から決定しました。

回数券の廃止

- 運賃支払い方法及び回数券の券種が多くなり管理及び確認が煩雑となることを鑑みて、令和9年4月再編以降は回数券の新規発行を終了します。
- これまでに発行した回数券は、令和10年3月31日まで使用可能ですが、差額が生じる場合は現金を足して支払うこととします。お釣りは出ません。

  ※現在の回数券利用割合は、一般：15%、小児：15%、高齢者：80%程度
- 払戻し対応期間は、令和10年9月30日までとします。

IC割引運賃の廃止

- 現在、Suica・PASMOなどの交通系ICカードでの支払い時には、IC割引運賃の設定を行っています。
- 支払額の案内の煩雑化及び市内路線バスとの均衡を考慮し、IC割引運賃の設定を廃止します。